

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立東柏ヶ谷小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

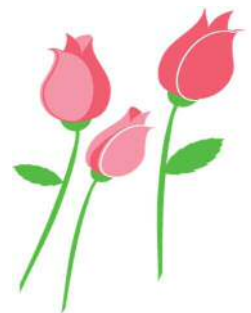
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|------------------------------|------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○話し言葉と書き言葉との違いを理解し、同音異義語による聞き手の誤解を招かないようにしていることを捉え、適切な答えを選択することができます。

○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉え、適切な答えを選択することができます。

◆課題のある点

○文章全体の構成や書き表し方に着目して、推敲することに課題があります。

○自分の文章のよいところを見付け、指定された条件で書くことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

○ペア学習やグループ学習を多く取り入れ、児童が自分の考えを表現する機会をより多く設定します。また、話し合いの場を多く経験させ、自分の考えと比べたり考えをまとめたりしているか、司会者や提案者、参加者などの役割を果たしているかなど、話し合いをふり返る場を設定していきます。

○めあて、まとめ、ふり返りのある授業の中で、まとめやふり返りの場面を大切にし、字数を指定したり、キーワードを提示したりして、自分で考えて書く活動を積極的に増やしていきます。

○朝自習や授業の中で、辞書で調べたり本を読んだりする時間をとり、語彙力を増やしていきます。また、行事をはじめとする体験活動の充実を図り、ふり返る中で、書く活動を取り入れていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解して適切な答えを選択することができます。
- 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することができます。

◆課題のある点

- 問題場面の数量の関係に着目し、除法で求めることができる理由を言葉と数を用いて記述することに課題があります。
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答え方を式や言葉を用いて記述することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎学力の定着を図り、計算精度を高めることで、学習の楽しさにつながるよう朝自習や授業時間に計算問題に取り組んでいきます。
- ペア活動を取り入れ、自ら納得したり他者に説明したりする機会を多く設定していきます。また、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、問題を解決するために見通しをもち、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりする場を設定していきます。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 情報が制限される選択式問題(特にカブトムシの変態)において、正答を選ぶことができます。
- 昆虫の育ち方の設問では、提示された複数の情報を分析して解釈することができます。
- 授業で使った器具(メスシリンダー等)の名称と用途を理解することができます。

◆課題のある点

- 実験結果を基に考える問題において、複数ある情報から必要な情報だけを取り出して解答することについて課題があります。
- 物の名称と課題のつながりが薄くなる傾向があります。特に水蒸気が空気中に含まれていることを問われる問題において正確な用語で解答することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 実験や観察の時間を充分に取り、原体験を増やします。また、学習した内容と日常生活との関連を図り、身の回りで見られる事物・現象に実感を伴って理解できるように指導していきます。
- 実験・観察などで結果を表やイラストを使ってまとめるだけでなく、予想や考察を自分の言葉で整理し、友だちの考えとの違いや共通点から理解を深めていけるよう指導していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している児童が多いことがわかります。
- 学校の授業時間以外に、普段読書をしている児童が多いです。落ち着いて本と向き合う時間が多いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 家にいるとき、自分で計画を立てて学習することを苦手と感じている児童が多いことがわかります。
- 学んだことをいかして、自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりして活用することを苦手と感じている児童が多いことがわかります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「人が困っているときは、進んで助けている」の回答が多く、周りを気遣い、助け合う優しい心が育ってきていることが伺われます。
- 「いじめはどんな理由があってもいけない」という質問に対して、ほとんどの児童が「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答しており、いじめは絶対に許されないことだという意識が育っていることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分によいところがあると答える児童が少なく、自己肯定感をもっている児童が少ないことがわかります。
- 自分と違う意見について考えたり、受け入れたりすることが難しいと感じている児童が多くいました。

今後の具体的な取組について

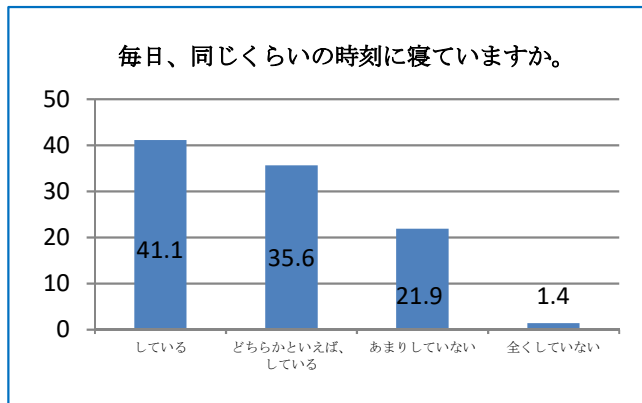
- 児童一人ひとりのよさが発揮できるような教育活動の展開や自己肯定感を高めていくような言葉かけを大切にしていきます。
- 本校の特色である地域との連携を大切に、人とのかかわりの大切さや楽しさを味わうことができるような教育活動を展開していきます。
- 総合的な学習の時間で、他教科で学んだことを活用しながら展開したり、ICTを活用したりする教育課程の編成に努めます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

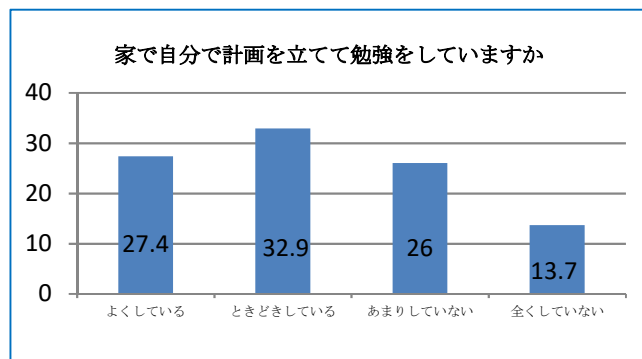
1 規則正しい睡眠をとりましょう。

毎日決まった時間に眠り、決まった時間に起きましょう。生活のリズムも整い、学習に集中することができます。



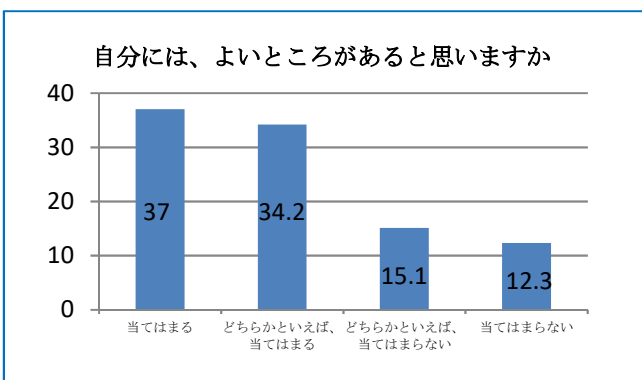
2 家庭での学習習慣をつけましょう。

学年が上がると、学習も難しくなります。自分の苦手に合わせて学習計画が立てられるよう、見守ってください。



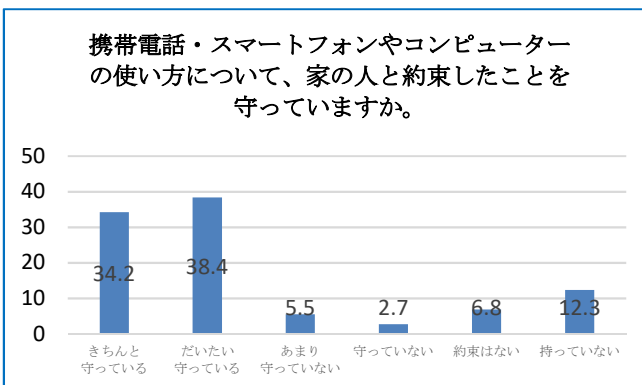
3 できるようになったことや、がんばっていることを、ほめましょう。

できるようになったことやがんばっていることを認めることで、自己肯定感が高まり、自信をもって行動できるようになります。



4 スマートフォン等の使用の約束を見直しましょう。

約束を守って使用し、スマートフォン等に依存せず、様々なことに興味をもてるようにしましょう。



結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係